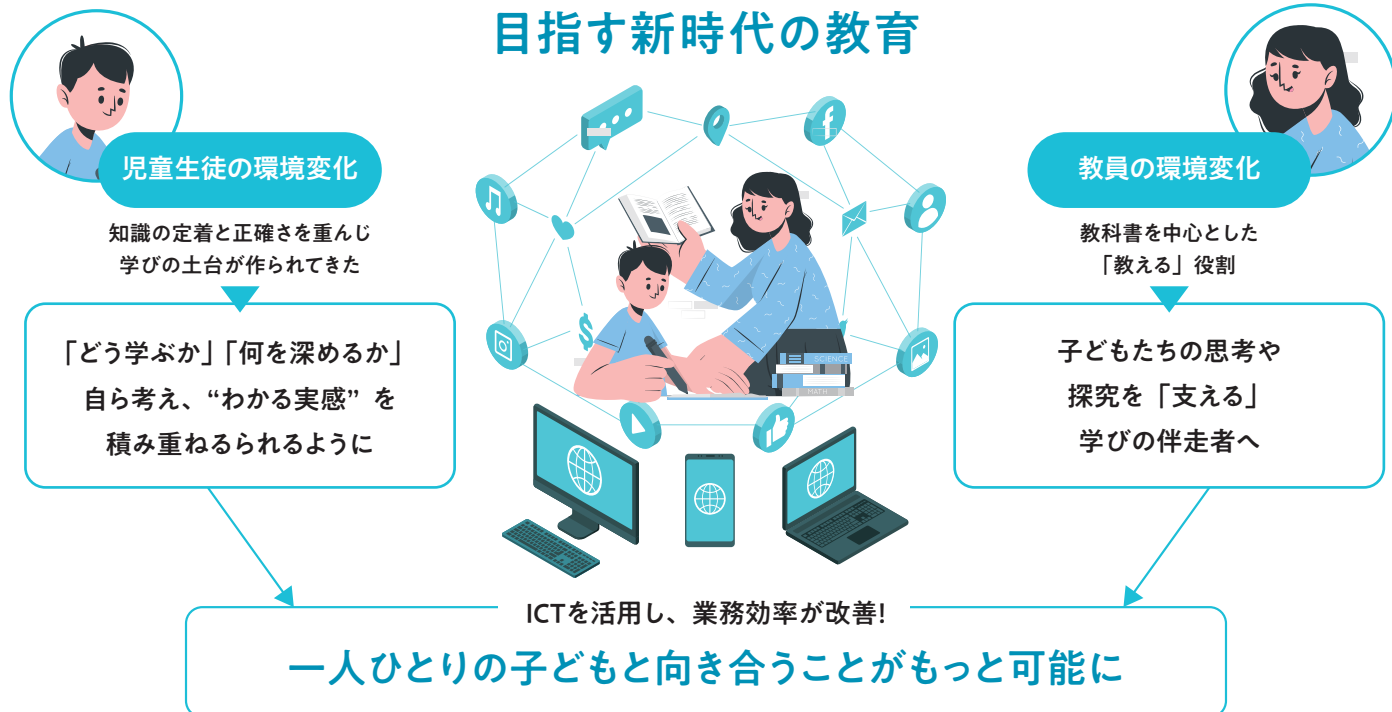


スマートスクール

目指す新時代の教育



多賀城市のビジョン

多賀城市が目指すスマートスクールは、すべての児童生徒がICTを活用し、未来社会に必要な力を身につける学びの場の実現です。第2期GIGAスクール構想の視点を踏まえ、端末の配備にとどまらず、授業や教員の働き方そのものを見直し、効果的で持続可能な教育環境の構築を目指します。

主なアクション

校務DXによる教員の働き方改革

教員の事務作業をテクノロジーを通じて効率化します。
例えば、資料のペーパーレス化・アンケートのデジタル化など。これにより授業や個別指導に集中できる体制をつくることで、教育の質を高めます。

デジタルシティズンシップ教育

「ネットの情報は全部信じていいの?」「SNSでのやりとりで気をつけることは?」といったテーマをみんなで話し合いながら、子どもたち自身が考えて判断できるようにしていきます。こうした学びを通して、デジタル社会におけるマナーや責任感を育てていきます。

STEAM教育

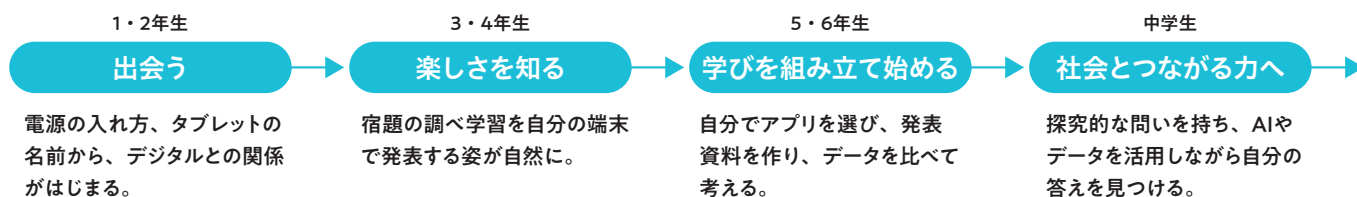
プログラミングでロボットを動かしたり、環境問題をテーマにポスターや動画を作ったりするプロジェクトを通じて、子どもたちが「正解のない問い」に挑戦します。実社会のように、自分で考え、形にし、発表する経験を積むことで、将来に生きる創造力を育てていきます。

次世代型授業の推進

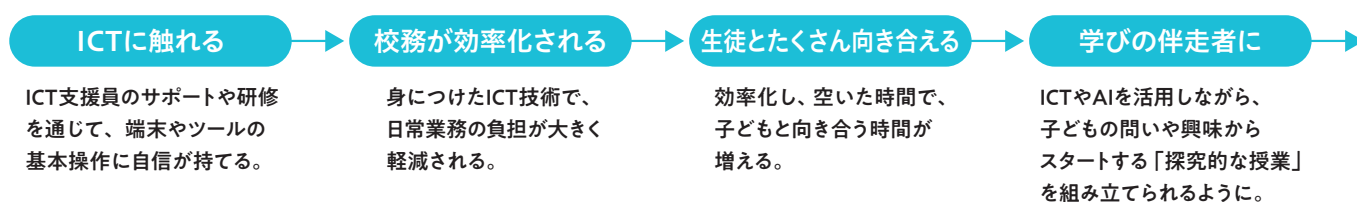
自分で「どうやって学ぶか」を考えながら進める授業に取り組みます。自分たちで調べ学習を進めたり、友だちとアイデアを出し合ってプレゼンを作ったりする中で、「課題を見つける→解決方法を考える→実行する」という一連の流れを体験します。



児童生徒の成長イメージ



目指す教員の変化



発展phase

これらのビジョンを掲げ、推進力を高めていくとともに、現状の立ち位置を常に確認しながら、課題解決や新たな取り組みの実践を行えるよう、発展phaseを作成し、現在地がどこなのか？ 次年度強化すべき取り組みは？ を検証します。



自ら考え、
選び、
行動できる力

スマートスクールが実現する未来

AIやテクノロジーの台頭によって、社会の変化するスピードは加速しています。目まぐるしい変化の中において、子どもたちが成長に必要なことは「自ら考え、選び、行動できる力」。学校は一人ひとりの学びを支えるテクノロジーを駆使して支える基盤として変わり、教員は“伴走者”として、ともに考え、問いを深める存在へと進化していきます。